

「両利き勉強」のススメ

—得意教科・得意分野をどんどんつくろう—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 「両利き(りょうきき)勉強」とは何ですか。

A : (1) 「利き腕(ききうで)」とは、「力の出せる方の腕」のことをいいます。

(2) 「両利き勉強方法」とは、「力の出せる教科や分野を 1 つだけでなく、2 つ、3 つとどんどんつくっていく勉強方法」です。

(3) 「第 1 志望校合格」「学校成績(校内順位)大幅アップ」「3 大検定合格」のためには、力の出せる教科や分野をまずはしっかりつくること。つまり、「利き腕」となる教科や分野を鍛えることが第一です。



Q 2 : 力の出せる教科や分野、つまり「利き腕」となる教科や分野をつくり、鍛えるためにはどうしたらよいのですか。

A : (1) 「好きこそ物の上手(じょうず)なれ」つまり「好きなればこそ、飽(あ)きずに努力するから、遂(つい)にその道の上手となる」(広辞苑)ということわざがあります。

(2) 自分の大好きで得意な教科や分野は何か・どこかを、まずははっきりさせて、思う存分、誰に遠慮することなく、どんどん勉強することです。

* 同じ教科書・テキスト、問題集は 5 ~ 10 回勉強し直す。

(3) 好きな教科は、学校の教科書をどんどん予習すること。1 日も早く次の学年、次の次の学年の内容を勉強することです。

(4) 国語を勉強していて好きな作家が見つかったら、全集や公共図書館にあるその作家の本を全部読む。

(5) 歴史が好きなら、「マンガ日本の歴史」「マンガ世界の歴史」を手始めに、図書館にある「日本の歴史」や「世界の歴史」のシリーズ本をできるだけ多く読む。

* 新聞を毎日読み、世の中で何が起きているかを知る。どこで起きているかを地図で確かめる。

(6) 数学や理科は、学校の教科書だけでなく、自分に合った読みやすい学年別の参考書・分野別の参考書でどんどん勉強する。

* 講談社の新書版「ブルーバックス」シリーズは、数学や理科好きの中学生・高校生に超おすすめです。



(7)英語は、自分に一番合う NHK のラジオ・TV 講座を、テキストや CD を買い徹底活用する。

* 英語が得意な人には「放送大学」の英語講座がおすすめです。

* 英検準 2 級に合格したら、新聞各社が出している英字新聞を毎日読む。

例えば、読売新聞を購読している人は「JAPAN NEWS」がおすすめです。

* 英検 2 級に合格し、英検準 1 級や TOEIC、TOEFL を受験する人は「JAPAN TIMES」や「JAPAN TIMES」の中に入っている「NEW YORK TIMES」を 1 日 1 ～ 2 時間読み続けることです。

* 英語は声を出して読む。学んだ英文はすべて音読練習。音読練習が足りないと、英語はいつまでたっても身に着きません。



Q3: 「利き腕」となる得意教科や分野をつくるには、毎日どのくらい勉強すればよいのですか。

A : (1)やはり、好きな教科や分野は勉強し始めるとあっという間に 2 ～ 3 時間はたっぺてしまいますから、最低でも 2 ～ 3 時間は勉強し続けるとよいでしょう。

(2)私のおすすめの「両利き勉強」は、1 本目の「利き腕」の教科は 1 日 2 ～ 3 時間勉強する、2 本目の「利き腕」の教科は 1 日 2 ～ 3 時間勉強することです。「両利き勉強」の勉強時間は 1 本 2 ～ 3 時間ずつで、合計して 4 ～ 6 時間がおすすめてです。

Q4: 最後に一言どうぞ。

A : (1)夏休みや土・日・祝日・冬休みは、この倍ぐらい机に向かうことです。コロナ禍はまだまだ続き、学校が早く終わったり休みになったりすることも多いでしょう。そのときは「ピンチはチャンス」と頭を切り換え、1 日 8 ～ 12 時間勉強して「両利き勉強」に役立てる。

(2)ポイントは、同じ教科書・テキスト・問題集は 5 ～ 10 回勉強し直す。

(3)そして、スミからスミまで「理解」した上で、身に着ける(「定着」させる)ことです。

